

スーパーガンコマサ：施工要領

①：下地整正



※ クラッシャー砕石(C30or40)にて、転圧を行います。
 ※ 100mm以上敷き厚で仕上げてください。

②：敷き均し



※ 配袋量：3.2袋/㎡ (仕上り敷き厚：40mm)
 ※ 勾配を考慮しながら敷き均します。
 ※ レーキ等で、敷き均しを行います。
 ※ 5m以内の間隔で目地を設置します。

③：第一転圧



※ 専用ローラー(イッ鉄くん)で、転圧を1往復かけます。
 ※ 端部より転圧を行い、その後長尺方向に向かって転圧をかけます。

④：表面整正



※ 第一転圧後、木コテ・プラスチックコテまたはレーキで不陸整正を行います。
 ※ 排水勾配を施します。
 ※ 金コテは使用しないで下さい。

⑤：刷毛引き



※ コテ及びローラーの跡を消します。
 ※ 表面粒子の偏りを無くし、均一な仕上がりにします。
 ※ 施工表面を軽く撫でる程度に行います。

⑥：基本散水



※ 必要散水量：11～12L/㎡(施工厚：40mm)
 ※ シャワー状の柔らかい散水を全体にまんべんなく行います。
 ※ 表面に水が浮き上がる程度の散水を5～10分置きに3回行います。

⑦：掘込透水確認



※ 施工面を直接掘込み、水の浸透レベルを目視で確認します。
 ※ 施工厚の2/3以上に水が浸透していることを確認します。不足している場合は再度散水を行いません。

⑧：第二転圧



※ 散水終了後(夏季：10～15分後、冬季：25～30分後)に行います。
 ※ 水浮き箇所がある場合は、水引き確認後に行う
 ※ 第一転圧同様のかけ方で、3往復行ないます。

⑨：養生



散水養生 マット養生

※ 施工完了後の急激な乾燥を防ぐためにシャワー状の散水を行います。(施工約1時間後に行う)
 ※ 夏季施工時には翌日も散水養生を行なって下さい。
 ※ 冬季施工時には初期凍害を防止するために施工終了後に「マット養生」を行ないます。



②. 敷き均し作業
 目地を設置します。
 目地材：ケンタイト
 ※5m以内で設置

*1 防凍剤は⑥基本散水の時に適量希釈して散水して下さい。



シンケン防凍剤 SL
 18kg 缶
 冬季の初期凍害防止
 3%～6% 希釈

3%希釈 (-2°C)
 ↓
 6%希釈 (-4°C)

●施工上の注意

1. 下地(路盤)転圧にはプレートタンパ・ハンドガイドローラー等の重機による転圧を行なって下さい。
2. 使用するコテは木コテもしくはプラスチックコテを使用してください。金コテは使用しないで下さい。
3. 降雨、降雪時には、施工しないで下さい。
4. 屋内での使用はしないで下さい。
5. 凍結の恐れがある為、日中の気温が氷点下になる時は施工しないで下さい。
6. 施工時及び施工後1週間以内に氷点下が予想される場合は防凍剤を使用して下さい。*1
7. 夏季は散水養生を行なって下さい。
8. 冬季は施工後にマット(保温)養生をおこなって下さい。
9. 施工後に降雨が予想される時は、シート養生をおこなって下さい。
10. 散水の過不足により硬化不良が起こることがあるので、ご注意ください。